

公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2017年12月23日（土） 13時00分～17時50分

場 所：東京八重洲ホール 302号会議室(3F)（中央区日本橋3丁目4番13号）

出席理事：柴田(一)、林、土居、伊王野、山下、早野、柴田(克)、嶋作、寺田、大山、望月、
徂徠、花輪、伊藤、春日（以上15名）

出席監事：田中、立松（以上2名）

欠席理事：小宮山（以上1名）

欠席監事：なし

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

また定款に基づき、議長と署名人の確認がなされた。

議 長：柴田一成

署名人：柴田一成、林 左絵子、土居 守、田中培生、立松健一

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2017年9月11日）の理事会議事録が報告され、確認された。

II. 報告

II-1. 移籍・退会等の報告（山下）

2017年9月6日～2017年12月19日までに正会員入会申請55名、準会員入会申請15名、準→正の移籍申請1名、正→準の移籍0名、正会員退会者6名、準会員退会1名の報告があった。

II-2. 「安全保障と学術」について（柴田(一)）

2018年3月の春季年会で特別セッションを開催する予定である。初日の15:30開始予定。若手からシニアまで幅広く更新していただく予定である。

II-3. コンプライアンス委員会からの報告（林）

代議員総会で承認された内容（除名通知の送付および関係者への連絡）を実行した。

II-4. IAU100年記念事業について（土居）

学術会議のIAU分科会の委員の交代時期にあたり、新委員長が決まり次第、学術会議側と日本天文学会との協議がスタートする。合同シンポジウムを開催する可能性が高い。

II-5. 各担当理事等の現状報告

1. 年会（寺田）：ジュニアセッションについての記述を追加するなど開催地マニュアルの更新を行った。年会開催に当たっての担当者の役割を明確にするために、例えば開催地実行委員会などの正式名称をもった組織として定義することが提案された。任期を明確にした組織表なども作成し、天文月報の報告記事に記載する方向で検討することとなった。

2. 月報（小宮山：代読伊王野）：4月号以降に、特集「超小型衛星の将来に向けて」、「HSC」,

連載「データ科学と天文学」を予定している。

3. PASJ (嶋作) : 年間ある程度の論文は OUP 社の裁量によりフリーアクセスで公開可能であることが判明し、PASJ の宣伝となるような論文があればフリーアクセスとすることを OUP と相談することとした。Asian-Pacific Solar Physics Meeting (APSPM) において若手の優秀な研究に対して PASJ 賞を授与した件について、継続的に行う場合は PASJ 関係者が審査に加わるべきであるとの意見が出された。
4. 天文教育 (大山) : 次回の教育フォーラムは「教養と天文学」と言うタイトルで、話題提供を 3 名に依頼した。
5. 天文教育普及賞 (土居) : 2018 年 3 月の受賞には選考が間に合わないので、委員会では選考基準について議論する予定である。
6. 庶務 (伊王野) : 来年度の事業計画を作成した。年会開催地の検討・交渉中。各賞の選考が進行中。
7. 広報 (望月) : 公開講演会および記者会見の関連情報を学会 HP に掲載するよう今期理事会より改めた。HP のリニューアルは概要と階層構造を決めて発注予定。学会職員のメール利用のルールを決め、職員に伝えた。
8. 会計 (早野) : 来年度の予算案を作成した。学会内規の改定案を作成した。

II-6 その他委員会の報告

1. ジュニアセッション (山村 : 代読伊王野) : 今回より、年会の講演申し込みに合わせて「発表登録」を行ってもらい、1 月下旬の予稿提出で講演申し込みの完了とする方式とした。
2. 男女共同参画 (馬場 : 代読伊王野) : 年会中の一時保育の保育料について、科研費や校費で払えることの周知を行った。
3. 選挙管理 (青木 : 代読伊王野) : 代議員選挙が予定通り実施された。得票数が同数の人があり、当選者・補欠を抽選により決定した。

II-7. 今後の年会進捗状況の報告

1. 千葉大 (花輪) : 開催地情報を Web に公開した。公開講演会のポスター・チラシを印刷した。今後、公開講演会について第 XX 回という表現ができればよいという提案があり、予稿集に最初の記述のある 1986 年を第一回とすることが提案された。公開講演会予算について、これまでは天文教育委員会から出されていたが、今後は年会理事から予算案を出すことにしてはどうかとの提案があり、検討することとなった。
2. 兵庫県立大 (伊藤) : 公開講演会は、9/22 に姫路駅前ホールにて開催予定。姫路市コンベンションビューローから、姫路市外からの宿泊参加者に応じた補助金を出せるとの情報あり。詳細について確認する予定である。
3. 法政大 (春日) : 会場利用については、開催の 1 年前にならないと正式申請できないと言う事情がある。ポスター会場として、教室は固定式の机なので使えない。広い廊下を使うことは可能だが、分散することとオープンな場となることが懸念点。大きなホールは 1 カ所あるが、他の利用者との取り合いとなる。

II-8. 事務所の近況報告 (佐藤)

特になし。

II-9. その他

市川前会長とアドバイザー契約を結び、特に、学会事務所運営についてアドバイスを頂いている。

III. 議題

III-1. 新規加入者の承認（資料 3、山下）

55名の正会員および15名の準会員の入会申請と1名の準会員から正会員への移籍の申請があり、全会一致で承認された。

III-2. 公益社団法人日本天文学会 2018 年度事業計画の承認（資料 8、伊王野）

各委員会等の委員会掲載順を2条委員会、3条委員会、4条委員会の順とすること、会長選挙を追加すること、および文言を修正して、代議員総会に提案することが全会一致で承認された。

III-3. 公益社団法人日本天文学会 2018 年度予算案の承認（資料 9、早野）

代議員総会に対して赤字予算となっていることの説明が必要との指摘があった。例年、均衡予算でも黒字決算となって来たために期末残高が積み上がっており、その残高が事業費以上に積み上がると公益社団法人の資格を失うので、期末残高を減らす必要があることを強調して説明することとした。その前提で、本予算案を代議員総会に提案することが全会一致で承認された。

III-4. 会員アンケートについて（資料 5、寺田）

「アンケート結果をどう利用するのかを明記すべき」、「年会改革のタイムスケールを明記すべき」、「会費から年会開催費を支出する判断材料として会計情報が必要」等の意見が出され、意見を反映した改訂案を作成し、後日電磁的決議に諮ることとした。

III-5. ジュニアセッションについて（資料 6、山村：代読伊王野）

ジュニアセッション参加者のアンケートにおいて、プロの研究者と議論をし、コメントをもらいたいという希望があり、前回の九州大学での年会ではその改善策としてジュニアセッションと研究者のポスターを近くに配置することを試行した。しかし、この方式だと、ジュニアセッション参加者（特に引率者）が年会の参加費を払わずに、通常講演のポスター会場に立ち入りできてしまう問題がある。議論の中で引率者の割引料金を設定して支払ってもらう案も提案されたが、引き続き理事会で議論することとした。

III-6. OUP 契約更新について（資料 7、嶋作）

2014年にOUPにPASJ出版の委託を開始して4年が経過し、刊行の迅速化・電子化等の機能向上とともに、購読機関数の大幅増加、財政面の大幅な改善が見られていることから、2018年12月31日の満了に引き続く5年間の契約を更新することが提案され、全会一致で承認した。

III-7. 会計内規の改定（資料 10、早野）

平成29,30年度と会費を18,000円から15,000円に引き下げているが、会費の延滞手数料は18,000円を元に計算された1,700円のままとなっているので、平成29,30年度の延滞手数料は引き下げ後の会費15,000円を元に計算した1,400円とすることが提案され、全会一致で承認された。

III-8. 2019 年秋季年会の開催候補地について（資料 11、伊王野）

2019 年秋季年会の開催地として熊本大学黒髪キャンパス（開催地理事候補：小出眞路）が提案され、全会一致で承認された。

III-9. インターネット版「天文学辞典」について（資料 12、代読伊王野）

天文用語集検討 WG は 2018 年 3 月の一般公開を目指してインターネット版「天文学辞典」を開発中であるが、2018 年度以降は学会の事業としてコンテンツを維持して継続的に更新していく仕組みを構築することの提案があった。天文教育委員会は、この管理をすることは想定していない。新しい運営体制・予算および公開ドメインについて継続して検討することとなった。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2017 年 9 月 11 日）議事録

資料 3 加入者の承認・移籍の承認・報告、退会の報告

資料 4-1 IAU100 FLAGSHIP PROGRAMMES

資料 4-2 IAU100:UNITING OUR WORLD TO EXPLORE THE UNIVERSE

資料 5 日本天文学会年会事業の改善・改革に向けた取り組み

資料 6 各委員会からの報告など

資料 7 PASJ 編集委員会からの報告と議題

資料 8 公益社団法人 日本天文学会 2018 年度事業計画書（案）

資料 9 公益社団法人 日本天文学会 2018 年度予算（案）

資料 10 「会費に関する細則」の変更について

資料 11 2019 年秋季年会の候補地について

資料 12 インターネット版 日本天文学会「天文学辞典」の維持・更新（案）

2017 年 12 月 23 日

会 長：柴田 一成 印

副会長：林 左絵子 印

副会長：土居 守 印

監 事：田中 培生 印

監 事：立松 健一 印